

## はじめに

この本を手にとっただきありがとうございます。

保育者の仕事はどのようなものなのかを、詳しくまとめた本ができました。

保育現場で働き始めた方や、保育実習に行く前に手にとっただけの方もいらっしゃるでしょうか。

ようこそ保育の世界へ。

日本における保育、特に乳児保育は、近年ますます重要性を増してきています。

女性活躍推進が進む日本では、特に乳児保育の利用者が急増し、待機児童の大部分が乳児（0.1.2歳児）になっています。そのため乳児保育の量的拡大とともに、その質を向上させることが急務となっています。

今、世界では、幼児教育の重要性の認識が進み、その重視策が進んでいます。その背景には、変化の大きな社会を生き抜くために必要な力として、非認知的能力を身につけることが大切で、その基礎が乳幼児期に育つことがわかってきたことがあります。

このような世界の流れを受けて、日本でも、子どもたちが活躍する20年後にも通用する力を乳幼児期から育成することが求められています。

平成29年の保育所保育指針の改定では、このような社会的な背景を反映させて大幅な改定が行われました。

中でも乳児保育の記載が充実、1歳以上3歳未満児の保育のねらい及び内容も追記され、0.1.2歳児の保育の記載が大きく改定されたことが大切なポイントになっています。

また、保育所も幼稚園、幼保連携型認定こども園とともに日本における幼児教育施設として位置付けられました。

乳児保育も幼児教育も、今後ますます質を問われる時代になるでしょう。

この本は、このような教育の大改革の流れを理解した上で、毎日の子どもたちとの生活では何を大切にすべきなのかをまとめたものです。

質の高い保育のために保育者は何をするとよいのか、保育者として生きるとはどのようなことなのかを、細かく示していません。

保育者のみなさんと子どもたちとの毎日が充実したものとなるよう、実践のためのヒントになればと願っています。

2018年4月

編著者 汐見稔幸  
松永静子

新保育所保育指针对应!

イラストでわかる!

0.1.2 歳児 担任のおしごと まるわかり!



はじめに .....	2
新しい保育所保育指针对应した保育をしよう! .....	8
0.1.2 歳児の発達を捉えて保育をしよう! .....	9

## 第1章 ステキな保育者になる!

1 社会人としての第一歩! .....	12
2 保育者として働くとは? .....	18

## 第2章 子どもを見る、理解する

1 0.1.2 歳児の保育は「見る」ことから始まる .....	28
2 子どもが楽しみ、自分のやりたいことができるように .....	30
3 保育者同士が相談し合える雰囲気をつくる! .....	32
4 保育者自身の感性も大切に .....	34

## 第3章 子どもに生活習慣が身につくよう援助する

1 授乳、食事 .....	36
2 睡眠 穏やかに眠って大きくなあれ .....	40
3 排泄 すっきり気持ちいいね! .....	42
4 排泄 トイレでの排泄はそれぞれのペースで .....	44

5 健康 子どもの体調確認はしっかりと .....	46
6 安全 子どもが安心して遊べる環境を .....	48
7 着脱 すっきり気持ちよくなあれ .....	50
8 清潔 きれいになると気持ちいい! .....	52

## 第4章 子どもとのコミュニケーション

1 朝の受け入れ、こうするとうまくいく! .....	54
2 子どもの生活は24時間で捉えよう! .....	56
3 子どもが安心して要求を出せるように .....	58
4 子どもへ言葉をかける .....	60
5 子どものいろいろな気持ちに寄り添う .....	62
6 子どもが泣いたらどうする? .....	64
7 子どもがおもしろがる気持ちを、大人もおもしろがる .....	66
8 発音遊びを楽しもう .....	68
9 自分以外のものがわかる .....	70
10 イヤイヤ期の自己主張は大切 .....	72
11トラブルが多い時は、環境を見直そう! .....	74

## 第5章 子どもの遊びを援助する

1 遊びがもっとも大事 .....	76
子どもの興味に合わせた遊びの環境をつくろう! /	
子どもの遊びを見よう / 子どもの遊びを豊かにする /	
やってみよう! でも、ちょっと待って! /	
子どもと遊びを楽しむために	
2 子どもの育ちに合わせた遊び .....	82
見ている遊び(乳児) / 援助を受けて遊ぶ(乳児) /	
一人遊び(乳児~幼児) / 平行遊び(乳児~幼児) /	

	構成遊び（幼児）／ルールのある遊び（幼児）	
3	「ねらい」「内容」に合わせた遊び	88
	身近な人とのふれあい遊び／体を動かす遊び／	
	手や指を使った遊び／やりとり遊び／見立て遊び／	
	造形遊び／自然遊び／伝承遊び	

## 第6章 行事もこんなふうにと うまくいく！

1	通うのが楽しみになる入園式	98
2	保育参加や慣らし保育では、安心感を伝えたい	100
3	運動会は育ちの感じられるものが楽しい	102
4	作品展では子どもの生活や育ちを伝えたい	103
5	避難訓練	104

## 第7章 保護者への対応は こうするとうまくいく！

1	登降園時のやりとりは子どもの過ごしやすさのため！	106
2	連絡帳を見る時はここが大切	108
3	ドキュメンテーションで子どもの姿を伝える	110
4	個人懇談会は子どもについて知るチャンス	112
5	トラブル対応にはこんな工夫を	114
6	地域の保護者への対応	116

## 第8章 子どもの学びを支える

1	乳児保育における学びとは	118
2	「養護」は保育の基本	120

## 乳児保育の三つの視点

	「乳児保育における三つの視点」とは？	124
	「健やかに伸び伸びと育つ」を意識した保育とは？	126
	「身近な人と気持ちが通じ合う」を意識した保育とは？	128
	「身近なものとの関わり感性が育つ」を意識した保育とは？	130

## 保育の基本となる5領域

	1歳以上3歳未満児の「5領域」	132
	健康	134
	人間関係	136
	環境	138
	言葉	140
	表現	142

## 育みたい資質・能力

	育みたい資質・能力	144
--	-----------	-----

## 0.1.2歳児保育に見られる10の姿

	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）	146
	健康な心と体	147
	自立心	148
	協同性	149
	道徳性・規範意識の芽生え	150
	社会生活との関わり	151
	思考力の芽生え	152
	自然との関わり・生命尊重	153
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	154
	言葉による伝え合い	155
	豊かな感性と表現	156

## 第9章 指導計画、PDCAについて



## 新しい保育所保育指針に 対応した保育をしよう！

保育所保育指針には、保育とは何か、保育で大切にすべきことは何か、という基本方針が示されています。全体的な計画や指導計画を作成し、評価、反省する際の大切なガイドラインです。平成29年に改定された保育所保育指針のポイントを確認して保育に活かしましょう。

### 🍎 平成29年の保育所保育指針改定のポイント

#### ◆第1章総則に「養護」の項目が入る

「養護」とは「生命の保持及び情緒の安定」のための関わりのことです。総則に示されたことで、「養護」は乳幼児期の保育の基本だと示されました。

#### ◆保育所は「幼児教育を行う施設」

保育所は、幼稚園や幼保連携型認定こども園とともに「幼児教育を行う施設」として位置付けられました。

#### ◆「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が入る

保育所をはじめとする幼児教育施設と、小学校以上の教育との接続の観点から、幼児教育で子どもたちに育まれる力を「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として示しました。

#### ◆乳児保育と1歳以上3歳未満児の保育の加筆

「乳児保育」と「1歳以上3歳未満児の保育」のねらい及び内容が大幅に加えられました。0.1.2歳児の保育について細かく記載されました。

#### ◆「子育て支援」の重要性

子どもを社会全体で育てるという「子ども・子育て支援新制度」の理念を反映させて、保育所も子育ての一翼を担うことが示されました。

#### ◆「災害への備え」の章の追加

日本各地で起きた大規模災害に学び、大規模な災害が起こることを想定して災害に備えて対策を立てるよう示されました。

## 0.1.2歳児の発達を 捉えて保育をしよう！

保育で必要なのは、子どもをよく見て「その子どもが何を必要としているのか」を読み取ることです。0.1.2歳の子どもの育ちを捉えましょう。

P146の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）に示されている姿で保育を振り返ることも大切です。

### 🍎 6か月未満児の発達



#### ◆寝返りや腹ばい ができる

寝返りができるようになり、腹ばいで遊ぶこともできるようになる。



#### ◆手足の動きが 活発になる

首がすわり、手足の動きが活発になる。自分の手をじっと見たり、自分の足をつかんだりする。



#### ◆表情や喃語で表現

泣く・笑うなどの表情で、自分の欲求や気分などを表現する。「あーあー」などの喃語で気持ちを伝える。

### 🍎 6か月～1歳3か月未満の発達



#### ◆つかまり立ちや 伝い歩きができる

つかまり立ちや伝い歩  
きができるようになる。



#### ◆ハイハイができる

ハイハイをして自分の  
行きたいところへ移動す  
る。自発的に周りの環境  
に働きかける。



#### ◆人見知りを する

特定の大人との情緒的  
な絆が深まるとともに、  
人見知りをするようにな  
る。

## 🍎 1歳3か月～2歳未満の発達



### ◆歩き始める

歩き始めて、自発的に周りの環境に働きかける。

### ◆1語で伝えようとする

「マンマ」「ワンワン」など、意味のある1つの単語で伝えようとする。



### ◆おもちゃの取り合いをする

身の周りの環境に働きかけるようになる中で、友達とおもちゃの取り合いなどをする姿も見られる。



## 🍎 2歳の発達



### ◆自分でしようとする

着替えや食事を自分でしようとする。「自分で」という気持ちが強くなる。

### ◆自己主張をする

「○○の!」と自分のものであることを主張したり、「自分で」ということを伝えたりできるようになる。



### ◆大人とごっこ遊びを楽しむ

模倣や、物事の中の共通性を見出すことができるようになり、象徴機能も発達することにより、大人と簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。



# 第1章

## ステキな 保育者になる!

園の職員としてしっかりと働くため、子どもたちとの時間をよりよくするために、保育者として必要なことを確認しましょう。

LET'S TRY!

# 1 社会人としての 第一歩！

ようこそ保育の道へ！子どもが好きだから、子どものためになる仕事に就きたかった、などいろいろな理由で保育者になったのではないのでしょうか。さあ、いよいよ始まります。園では、同期や先輩の保育者、主任の先生、園長先生、その他にもいろいろな職員と一緒に働くこととなります。新人保育者として、教えていただき支えていただく立場だということをわきまえて、仕事に向き合しましょう！

## 🍎 よりよい仕事はよい人間関係から



### ◆よりよく働けるように

保育者として、子どもたちとの時間をよりよいものにするためにも、同僚や保護者などとの人間関係はとても大切です。周りの人たちから信頼してもらうためには、マナーや約束を守ることや、身だしなみを整えたりすることは大切です。

よい仕事をするためにも、よい人間関係を築けるようにしましょう。



### ◆明るく挨拶をしよう

明るい挨拶で1日を始めましょう。仕事を始める時は「おはようございます」「よろしく願います」など、帰る時には「お先に失礼します」などと挨拶をします。

園内だけではなく、園の前ですれ違う保護者にも「おはようございます」「行ってらっしゃい」「お帰るなさい」「さようなら」などと、園での挨拶と同じように声をかけるとよいでしょう。

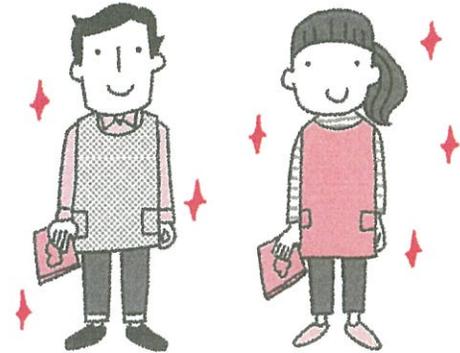
## 🍎 こんな保育者がステキ！

### ◆身だしなみを整える

その場にふさわしく、清潔な服装をしましょう。

子どもたちが安心して過ごすことができ、同僚や保護者からも「安心して預けられる」と思ってもらえるように、清潔感のある身なりでありたいものです。

爪は短く、女性は髪の毛を結びアクセサリーはしない、男性は短めの髪を整える、など園で決められている場合もありますので確認しましょう。



### ◆丁寧な言葉で話す

保育者は先輩や同期の保育者、保護者、子どもたち、地域の方々などたくさんの人とやりとりします。その場にふさわしく、丁寧な言葉で話すようにしましょう。